



入組式で役員と共に集合写真に納まる新採用職員
＝丹波篠山市大沢で

「貢献できるよう精進」

JA丹波 ささやま 新採用5人が入組式

JA丹波ささやまの入組式が3日、同JA本店で開かれた。各部署に配属される4月までに研修期間を設けるため、毎年3月に新採用職員を迎えている。今年5人が社会人としての第一歩を踏み出し、市民から信頼される職員になることを誓った。

新職員を代表して

出身が「大学で得た知識などを生かして丹波篠山に貢献できるよう精進したい」と誓いの言葉を述べた。

組合長は「皆さんが仕事を楽しみ、職員として成長し、仲間と共に地域農業を支え、素晴

2025年3月9日
丹波新聞

らしい未来をつくってほしいよう、活躍を期待している」とあいさつした。

篠山東雲高校を卒業

し、入組した

さん(18)は「入組式は緊張したが、元氣よく、笑顔がけた。高校で学んだ農業を生かせるよう頑張りたい」、氷上高校出身のさん(24)は「職員、組合員の皆さんに頼っていただけのような職員になりました」と話していた。